

1 単元 3人の武将と全国統一

- 2 目標
- ・3人の武将による天下統一の様子に関心をもち、それぞれの武将の業績などを意欲的に調べようとする。  
(関心・意欲・態度)
  - ・戦国の世の中が次第に統一されていった様子を、3人の武将の行動や考え方、業績をもとに考えることができる。  
(思考・判断)
  - ・さまざまな資料から、問題解決に必要な資料を選択・活用し、考えたことをまとめて表現することができる。  
(技能・表現)
  - ・戦国の世の中が3人の武将の働きによって統一されていったことが分かる。  
(知識・理解)

3 児童の実態

授業の中で「なぜだろう」「不思議だ」「調べてみたい」と思うことはありますか。 「なぜだろう」「不思議だ」「調べてみたい」と思ったことが学習問題になったときの気持ちはどうですか。 ある 33人 ない 2人 やる気になる 31人 いつもと変わらない 4人		
これから学習する3人の武将について知っていることを答えてください。(複数回答)		
(織田信長) 本能寺の変 (9人) 大坂城の築城 (7人) 安土城の築城 (4人) 長篠の戦い (4人) 千利秀の保護 (2人) 桶狭間の戦い (2人) 幸町幕府を滅ぼす (2人) その他 (5人)	(豊臣秀吉) 大坂城の築城 (4人) 大坂に任命 (4人) 関白に任命 (3人) 朝鮮出兵 (3人) 検地 (2人) その他 (4人)	(徳川家康) 江戶幕府を開く (10人) 幕府を重んじる (6人) 大原の戦い (5人) 豊臣氏を滅ぼす (3人) 戸田重定 (3人) 武家諸法度 (2人) その他 (5人)

これまでの問題解決的な学習と本単元の学習内容の理解度を把握するために、意識・実態調査を行った。その結果を分析すると、児童は興味・関心や疑問を抱きながら学習に取り組んでいる。そして自分たちの興味・関心や疑問が生かされた学習問題をもとに調べ学習を展開しているときは、意欲的に学習に取り組んでいることが分かった。アンケートの結果を見ると、これから学習する3人の武将の知識は、比較的豊富であることが分かる。このことは、3人の武将への興味・関心が高く、自ら進んで本を読んだり、資料を見たりしている児童が多いからかと思われる。しかし、3人の武将のエピソードや業績などを断片的にとらえている児童が多いとも言える。そこで、3人の結び付きや時代背景、その目的等をつかませることが大切であると考え、上記のような実態から、ディスカッションなどの体験的な学習や資料を基に、児童の興味・関心や問題意識を喚起するような学習問題をつくり、主体的に学習に取り組んでいく態度を身に付けさせ、歴史的事象に対する自分の考えをもたせていきたいと考える。

4 単元について

小学校学習指導要領解説社会編(平成11年5月文部省)の第6学年の内容(1)の工には「織田・豊臣の天下統一について調べ、戦国の世が統一されたことが分かること」と記され、同じくオには「江戸幕府の始まりについて調べる」と記されている。さらに、「織田・豊臣の天下統一の二つの歴史的事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、戦国の世が統一されたことが分かるようにすること」「徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利を収め、江戸に幕府を開いたことを取り上げて調べ、江戸幕府による政治が始まったことが分かるようにすること」とねらいが記されている。

そこで、上記のことを基に、「信長・秀吉・家康の3人の業績・性格などを具体的に調べながら、戦国の世が統一され、新しい時代が開かれていったこと」への理解を深めることを目標として本単元を構成していくことが重要と考える。

3人の武将について、児童の予備知識は比較的豊富である。一方それは、部分的、一面的でもある。本単元では、戦国の世という時代背景の中で、この3人が何を目指し、どんな工夫をし、どのように共同して新しい時代を開いていったかを、具体的に、また構造的に探らせるようにしていきたい。

本単元の学習は、学習問題づくりの前に、簡単な調べ学習をする。それをもとに「天下統一のMVPは誰か?」というテーマでディスカッションを行う。ディスカッションを行うことにより、3人の人柄や業績を複合的にとらえ、MVPの決め手となる要素とその根拠を考え出さなければならなくなる。また、自分と異なる根拠を知ることにより、自分の考えを深め、興味・関心や問題意識を喚起するきっかけにもなる。そこから生まれた興味・関心や問題意識をもとに学習問題をつくる。そうしてできた学習問題をもとに、意欲的な追究活動を行わせていきたい。これらの活動を通して、6学年のテーマである「自ら進んで課題を見つけ、適切に話したり、聴いたりしながら、学び合い高め合える児童の育成」に迫ると同時に、社会的なものの見方や考え方を深めていきたいと考える。

5 学習計画と評価(9時間扱い)

次	時	学習活動及び内容	学習形態・支援	評価規準(方法)
1 学習問題づくり	1	・3人の武将に関して、事前に調べ学習を行う。	<一斉> <個別> ・3人の武将の人物年表から、それぞれの人物の業績を概観する。 ・「天下餅の歌」ほととぎすの「川柳」を活用することで、3人の関係の生かされ方などへの関心を高めさせ、疑問を明確にさせる。	【関心・意欲・態度】 3人の武将について興味・関心をもち、そこに住む人々の工夫や努力について調べる意欲をもとうとしている。 (観察・学習カード)
	2	・事前の調べ学習を活用し、「天下統一のMVPはだれか?」というテーマでディスカッションを行い、興味・関心や問題意識をもとに学習問題をつくる。	・本単元に対する疑問や興味・関心を喚起するようなディスカッション、資料の提示に心がける。 ・単元の目標に迫るような学習問題を考えるようにする。	【思考・判断】 3人の武将の業績や生き方に問題意識をもっている。 (観察・学習カード) 【知識・理解】 事実認識から3人の武将の業績等の大まかな特色をつかんでいる。 (観察・学習カード)

2 計 画	4	・問題解決の予想・調べる方法を考え、計画表にまとめる。	<個別><一斉> ・予想を立て、問題意識をもたせる。 ・予想をもとに学習の見通しをもたせる。	【思考・判断】 自分の学習問題について調べ、まとめていく計画を立てている。 (観察・学習カード)
3 調 べ 学 習	5  6  7	・3人の武将の中から1人を選択し、個別に調べ学習をすすめる。 ・教科書・参考書 ・インターネット ・教師準備資料 ・その他の取材活動 ・調べたことをもとに自分の考えを入れながら、レポートまたは新聞をつくる。 ・中間報告会を行い、友達の調べ学習のよい点を見つけ、今後の調べ学習に生かす。	<個別><一斉> ・自分の調べたい人物を1人選び、コース別に調べ学習を進めさせ ・調べ学習を進めながらまとめていく。 ・資料コーナートを設置し、参考図書、資料コーナートを等用意しておく。 ・個別指導を行い、それぞれの調べ方やまとめ方を紹介する。 ・調べたことをもとに自分の考えを入れながら、レポートまたは新聞をつくる。 ・調べたことをもとに自分の考えを入れながら、レポートまたは新聞をつくる。 ・調べたことをもとに自分の考えを入れながら、レポートまたは新聞をつくる。	【関心・意欲・態度】 3人の武将に関心を持ち、天下統一のための業績を意欲的に調べようとしている。 (観察・発表) 【思考・判断】 世の中が次第に統一されていった様子や3人の武将の行動や考え、業績をもとに考えている。 (観察・発表) 【技能・表現】 さまざまな資料から問題解決に必要な資料を選択・活用し考えたことをまとめて表現している。 (観察・作品) 【知識・理解】 世の中が3人の武将の働きによって統一されていったことが分かっている。 (観察・発表・作品)
4 ま と め	8  9	・グループ内発表会を行う。 ・自分としての考えや意見等も入れて発表する。 ・評価テストを行う。	<グループ> ・相互評価カードを活用し、今後の学習に生かせるよう助言する。 ・自分の考えや意見等も入れて発表	【思考・判断】 まとめの過程の中で自分の考えや意見等を入れてまとめ、発表している。 (発表・作品)

6 本時の学習(3/9)

- (1) 目標 ・ 戦国時代をリレーするように統一していった3人の武将のうちだれがMVPかを話し合う活動を通して、3人の武将の業績を概観することにより、興味・関心や疑問を見出し、3人の武将の生き方に問題意識をもつことができる。 【思考・判断】
- (2) 準備 ・ 児童作成資料・長篠合戦絵図・人物年表・天下餅の歌・ホトトギスの川柳・学習カード
- (3) 展開

学習活動・内容	学習形態	支援・指導の留意点	評価(方法)
1 資料を見て、気付いたこと、思ったこと、考えたことを発表する。 長篠合戦絵図 3人の武将の「人物年表」 天下餅の歌 ホトトギスの川柳	一斉	・長篠合戦絵図や人物年表から、信長・秀吉・家康の3人が同じ戦いに参加していることや、同じ時代に生きた人間であることを気付かせる。 ・3人の位置関係から、上下関係をとらえさせる。 ・「天下餅の歌」「ホトトギスの川柳」から、3人がリレーするように統一していったことや性格等を理解させる。	
2 本時のめあてを確認する。  「天下統一のMVPはだれか?」というテーマで話し合い、さらに調べたいことをまとめよう。	一斉		
3 話し合いのテーマ「天下統一のMVP誰か!」を基にパネルディスカッションを行う。  はじめに今日の話し合いのやり方とルールを確認する。 ・パネルディスカッションの形態で行う。 ・MVPとする根拠を入れて発表する。 ・他派の意見を聞き入れる。 ・だれがMVPかの結論は出さない。  信長派、秀吉派、家康派それぞれから、調べたことをもとに代表的な意見を発表する。  MVPとした理由を考え、その根拠となる資料を提示する。	パネルディスカッションの形態	・話し合いは、信長派、秀吉派、家康派それぞれから、事前に代表(パネラー)を選んでおき、パネルディスカッションの形式で行わせる。 ・本時までには児童全員に、3人の武将に関する調べ学習を行わせ、個人でMVPを決めさせておく。 ・MVPには正解はないこと、話し合っただけで誰か1人に決めていくのではないことなどを理解させる。 ・友達の意見をつなげたり、自分の考えのもとになった資料を引用したりして発表させる。 ・話し合う活動を通して、3人の業績や生き方を複合的にとらえさせ、自分の考えを深めるきっかけとする。 ・話し合いの中で出てきた意見を板書し、児童の思考の手助けになるように支援する。 ・もう一度自分の推す天下統一のMVPを考えさせる。 ・話し合いの最後にパネラー以外の児童の意見を聞き、自分の考えや今後の学習の意欲を引き出すようにする。	
4 今日の学習活動をもとに、3人の武将について調べてみたいことや疑問に思ったことを学習カードに書き出し、発表する。	一斉	本時の話し合いから3人の武将の業績や生き方について、さらに深まりのある学習問題につながるように、見通しをもって調べたい内容や疑問点を書き出している。	(学習カード 観察)
5 本時の学習を振り返り、次時の学習を確認する。自己評価を行う。次時の活動予定を記入する。	一斉	・次時の活動に生かせるように自己評価カードに記入させる。	

# 社会科学習カード NO。

3人の武将と天下統一

6年 組 番 氏名

パネルディスカッションをして、不思議に思ったこと  
や気づいたことを書いてみよう！

パネルディスカッションをして不思議の思ったこと  
気づいたこと  
(信長 秀吉 家康についてどんなことでも)

友達の意見で、心に残ったこと その他

「今日の活動の中から「なぜだろう？」「不思議だ？」  
もっとくわしく調べてみたい」ことを書こう！

Five empty speech bubble shapes arranged in two rows: three in the top row and two in the bottom row. Each bubble has a tail pointing downwards and to the left.

# 社会科学習カード NO。

3人の武将と天下統一

6年 組 番 氏名

選んだ武将

共通学習問題をつくり，それをもとに  
「オリジナル学習問題をつくろう！」

<学習カードをもとに なぜだろう？不思議だ？調べてみたい！ことを書こう。>

(書き方の例)

どうして～なのだろう？

～について気になる

～について調べたい

グループで話し合い

なぜ・何？カードに記入

黒板にはる

タイトルをつけよう！

タイトル1

タイトル2

タイトル3

タイトル4

タイトル5

タイトル6

< 共通学習問題 >

< 共通学習問題を解決するために >

「どのようなこと調べていったらわかるか」

< オリジナル学習問題案 >

タイトルからも  
考えよう！

友達の考えや意見を参考にして

ついに完成！ < オリジナル学習問題 >

# 社会科学習カード NO。

## 3人の武将と天下統一

6年 組 番 氏名

オリジナル学習問題の予想を立て，学習計画を立てよう。

学習問題 1

予想

調べる方法（資料）

調べる日

学習問題 2

予想

調べる方法（資料）

調べる日

学習問題 3

予想

調べる方法（資料）

調べる日

学習問題 4

予想

調べる方法（資料）

調べる日

学習問題 5

予想

調べる方法（資料）

調べる日

Blank rectangular box for information.

発 行 者

発 行 日            月            日            曜

社 説 (感想)

Blank rectangular box for editorial or comments.

# 3人の武将と天下統一

6年 組 番 氏名

## グループ発表会をしよう！

( )さん 君  
の発表の感想

( )さん 君  
の発表の感想

( )さん・君  
の発表の感想

( )さん・君  
の発表の感想